

設計例 LPS-5  
一般ビルディング(S造/RC造)

外部雷保護システム

1.保護レベル	保護レベル2
2.受雷部システム	--- (保護角法) 突針、水平導体 (回転球体法) --- (メッシュ法)
3.引下げ導線システム	建物鉄骨
3.1.水平環状導体	建物鉄骨
4.接地システム	構造体利用接地極
5.保守システム	保守・追跡用設備

回転球体半径は、保護レベル2の場合、

球体半径 30m

引下げ導線の間隔は、保護レベル2の場合、

平均間隔 15m以内

水平環状導体の間隔は、

地表面及び垂直方向最大20m毎に相互に接続  
※鉄骨構造の場合、垂直及び水平方向の電気的連続性は一般に確保されているため、特別な要求事項が無い場合は、省略することができる

建物モデルの規模

1.建物種別	研究施設・事務所
2.建物概要	地上S造、地下RC造 地上10階(高さ33m) 地下1階
3.外周長	約75m

材料選定

1.水平導体	2φ×19: 銅より線 (鬼糞り線)
2.小突針	銅棒 16φ (コーナー及び突角用)
3.避雷導体	2φ×13: 銅より線 (鬼糞り線) VE28
4.導線支持金物	アンカー用: 黄銅製 接着用: 樹脂製 鉄骨ルーバー用: 黄銅製
5.分岐端子	T型・十字型: 黄銅製
6.水切り端子	パラペット用: 黄銅製
7.鉄骨接続用材	溶接用: 鉄製
8.鉄筋接続用材	溶接用: 鉄製
9.接続用クランプ	鉄筋、基礎、基礎杭用
10.試験用端子箱	試験用: 黄銅製

水平導体の保護空間

